

2025 年 11 月 10 日

投稿時のガイドライン（日本比較文化学会『比較文化研究』）

1. 書式について

(1) 学会ウェブサイト「投稿規程」(https://hikakubunka.jp/?page_id=85) ページで、書式等をよくご確認ください。

(2) 投稿規程の書式の指定の指示（第 7 条第 iii～ix 項目）に従いつつ、以下の書式見本に近い形となるように調整してください。

(3) 引用表示、後注、参考文献リスト（レファレンス）の書式は、『比較文化研究』の過去の号に掲載された論文を参照するか、または、既存の書式システム（APA、MLA、Harvard Referencing、Chicago Manual など）を踏襲（日本語論文の場合、日本語にあてはめる）するなどしてください。特定の書式を踏襲する場合、別種の書式を混在させず、同じスタイルで一貫してください。

なお、以下の書式見本は APA に準じていますが、投稿論文を APA に限るわけではありません。

(4) 投稿原稿においては、次ページの書式見本に準じてください。ただし、印刷の仕上がりにおいては、フォント・タイプやフォント・サイズは、提出原稿に求められるものとは異なった状態で出力されます。最終的な体裁については、ゲラでご確認ください。

2. 査読結果通知から発行まで

(1) 査読者から指摘を受けた場合、指摘に応じない箇所については、応じない理由を明示してください。

(2) 査読コメントに応じて書き直す場合でも、**規程の「10 ページ前後」を著しく超過しないようご注意ください**。目安として、1 ページあたり全角 44 字×36 行（英文の場合、半角 80 字×36 行）に加え、図表グラフ等も含めて **12 ページを上限とします。過度のページ超過の場合は、掲載不可となります。**

・次ページの書式見本において、黄色ハイライト部分はテキストボックスの注記にかかわる部分です。

・**氏名および所属は、投稿時には記載しない**でください。**掲載決定後の原稿には記載**してください。

3. ガイドラインの有効バージョンについて

ガイドラインは、加筆されてバージョンが更新されることがあります。投稿時には、その時点で学会ウェブサイトに掲載されているバージョンのガイドラインを参照してください。

書式見本

(1 ページ目)

『どん底』にみる黒澤明のロシア文学受容

姓 名は投稿時は記載しない

(大学名は投稿時は記載しない)

Akira Kurosawa's Reception of Russian Literature in *The Lower Depths*

First Name Surname 投稿時は記載しない

(Affiliation は投稿時は記載しない)

フォントタイプは本文は
日本語は明朝体、英語は
Century。日本語タイトル
はゴシック。

フォントサイズは、本文は
10.5 ポイント、論文タイト
ルは 14 ポイント。

タイトル・氏名・所属
機関名は日本語と英
語併記でセンタリン
グで。

Abstract

This paper explores ~~~~~

1 行ずつ行スペースを空ける箇所:①タイト
ルと要旨の間、②章と章の間や本文と文献
リストの間、③図表の前後。

はじめに

黒澤明は、複数の外国文学作品を映像化した翻案映画を製作した。その際、多くの外国映画を参照したと考えられ (新井 2020 pp.6-7)、黒澤作品の映像における他の映画からの影響の痕跡が、先行研究で分析されてきた。¹

文中の引用表示は、以下の①～③のいずれか。

①新井 (2020) によると「……は……である」(pp.6-7)。

②「……は……である」と新井は述べている (2020, pp.6-7)。

③ 新井は、……は……である、と主張している (2020, pp.6-7)。

なお、ページ数の p.および pp.はなくてもよい。

¹ 例えば、〇〇は、黒澤のインタビューにおける発言から、また、John Ford の西部劇、*3 Bad Men* (1926)や *Stagecoach* (1939)、その他の作品との比較から、具体的に影響を受けた作品や、シーン、技法

後注・参考文献は、フォントサイズ9ポイント。

参考文献

山田太郎、木村花子、村田二郎（2021）。『1960年代の日本映画』 新風社

Yamada, T., Kimura, H., Murata, J. (2023). *Chinese Films of the 2000s*. Tokyo: Sanyosha.

山田太郎、木村花子、村田二郎（2022）。「1990年代の韓国映画」『アジア映画研究』2(1), 32-38.

Surname, Given name., & 2 人目 Surname, Given name. (Year). Title of article. *Title of journal*, vol(no), xxx-xxx. retrieved from <http://www.xxxxxxx> (accessed Year-Month-Day)

Surname, Given name., & 2 人目 Surname, Given name. (Year). Title of article. *Title of journal*, vol(no), xxx-xxx. doi: xx,xxxxxx (accessed Year-Month-Day)

著者名（投稿・掲載の年月日）。Web ページの題名。Web サイトの名称。 <http://www.xxxxxxx>

（参照 年-月-日）

Surname, Given name. (Year, Month, Day). Title of Web page. Title of Web site. Retrieved from <http://www.xxxxxxx> (accessed Year-Month-Day)

上から（いずれも APA に則った場合）

書籍の場合

英語書籍の場合

雑誌の場合

英文雑誌の場合

電子雑誌の場合（DOI なし）

電子雑誌の場合（DOI あり）

ウェブページの場合

英文ウェブページの場合

（比較文化大学 夏目漱石）

掲載決定後に提出する原稿の巻末に、() 内に所属と氏名を記載する。所属は、大学名、あるいは大学院名、あるいは機関名。学部や部門は記載しない。なお、投稿時には記載しない。